

教育用

# Dr.series



# IRONOWA



# Dr.LIQUID

オールケア前処理ジェル



美容師がテクニックでカバーできない

「ケミカルダメージ」<sup>\*1</sup>「フィジカルダメージ」<sup>\*2</sup>

の両側面から毛髪を守る ジェルリキッド前処理剤

※1 アルカリ剤や過酸化水素などによる化学的ダメージ

※2 塗布時のハケ圧やコーミングなどによる物理的ダメージ

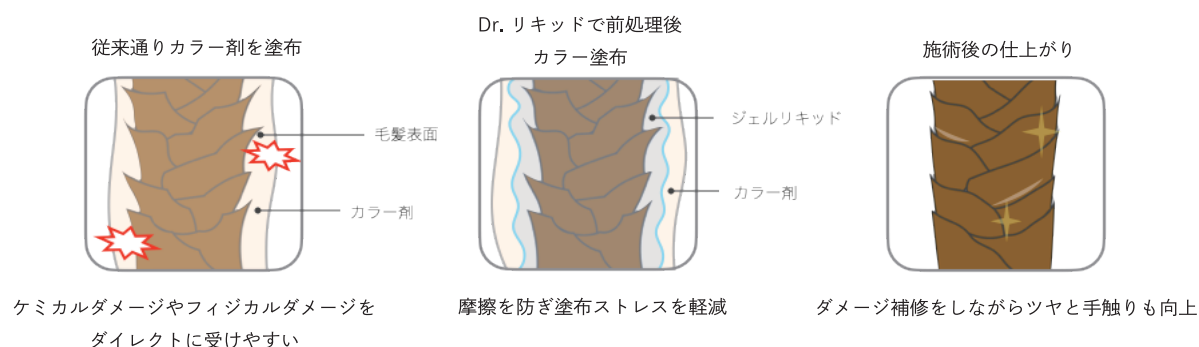
## 開発の経緯

従来のミスト式の処理剤は、使用中にお客様の顔にかかりやすい、髪の毛から垂れ落ちるため効果を実感しにくい課題があった。

この課題を改善し「よりお客様へ価値提供できるサロン独自の武器」をコンセプトに開発。

## ジェルリキッド状処理剤がダメージした毛髪を補修・保護し、枝毛・切れ毛の予防

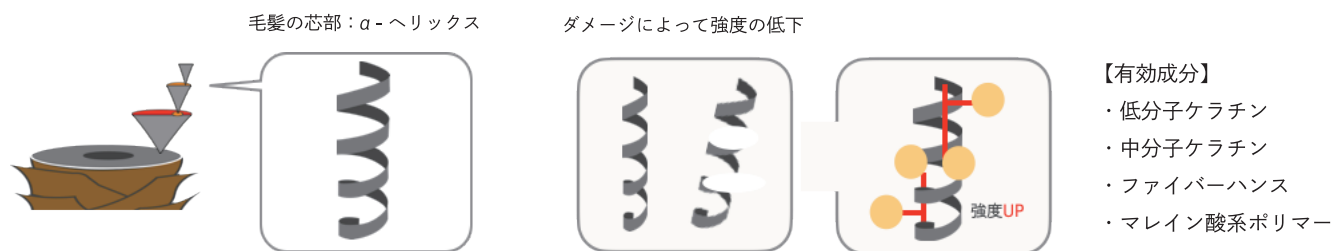
分子量の小さいケラチンで毛髪内部のダメージ補修をしながら、ジェルリキッドが毛髪をコーティングし、その上でカラー剤を反応させることができるため、ハケやブラシのコーミングによる摩擦からも毛髪を保護することが可能になり操作性の向上にもつながります。



## ファイバーハンスの働きで、毛髪の芯から強度UP

ファイバーハンスが損傷した $\alpha$ -ヘリックスに、新たな水素結合・イオン結合を生成し、結合を補強。ケラチンとの架橋構造を作り、毛髪芯部から強度を高め、柔軟性や保湿力を保ちます。

※ 毛髪内部イメージ



## 使用方法

### ▼ オンカラーに使用する場合

- ① 水が滴らない程度に髪の毛全体を濡らす
- ② 髪の毛全体に満遍なく塗布
- ③ いつも通りカラー剤を塗布

### ▼ パーマに使用する場合

ワインディング前に毛髪に直接塗布

### ▼ ストレートに使用する場合

1剤塗布前に毛髪に直接塗布

### 使用量の目安

ショート : 20ml  
ミディアム : 30ml  
ロング : 40ml

# Dr.EMULSION 高機能リペアクリーム



「プレックス剤」と「後処理トリートメント剤」の機能を併せ持ち、ヘアカラーのケミカルダメージ<sup>\*1</sup>を予防する万能タイプの処理剤

※1 水分量の減少や脂質の流出による毛髪強度の低下や褪色、残留過酸化水素などによる継続的なダメージ

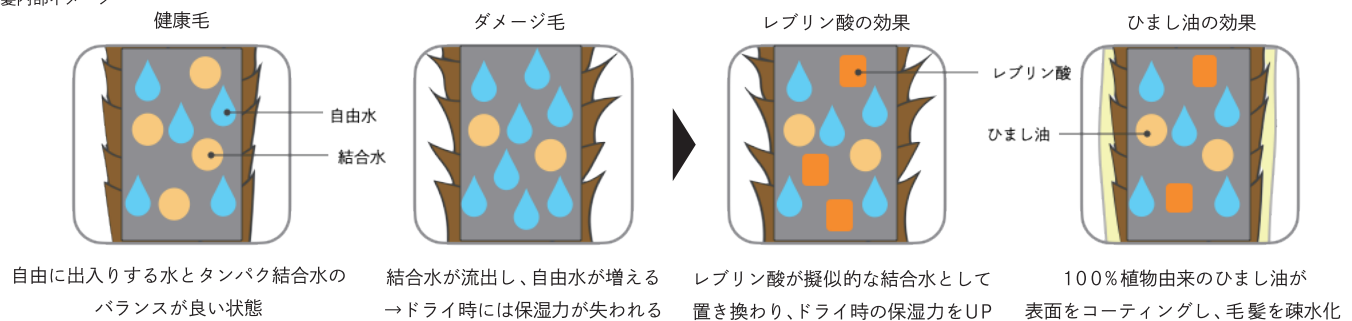
## 開発の経緯

従来のプレックス剤は、効果を最大限発揮するために複数製品を組み合わせる必要があり手間やコストに課題があった。この課題を解決するため「1製品で最大限のパフォーマンスを発揮できるリペアクリーム」をコンセプトに開発。

## 「保湿力のUP」「疎水化」「結合強化」に特化した 万能プレックス剤

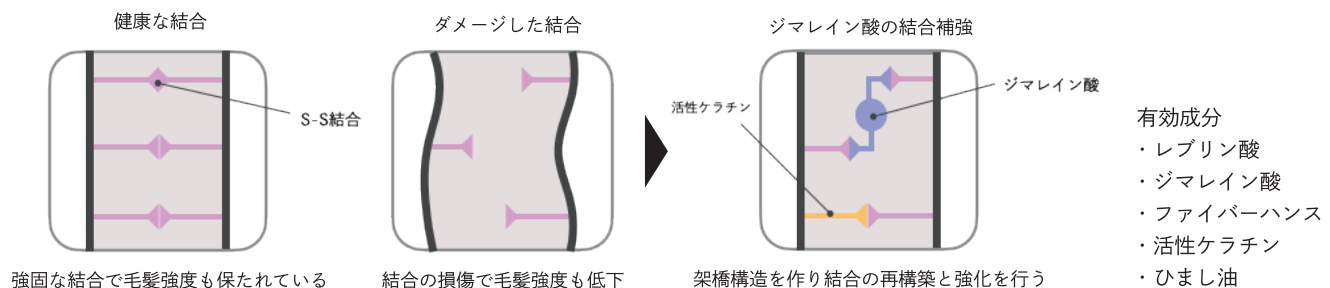
レブリン酸でダメージ毛でも維持できる水分量のコントロールをし、ひまし油でキューティクル表面をなめらかな手触りに導き、カラーリングの褪色防止効果を高めます。

※ 毛髪内部イメージ



## ジマレイン酸と活性ケラチンによる S-S 結合の強化

この二つの働きにより結合補強をしながら、ダメージホールや毛髪の芯部も補修することで毛髪強度を高めます。



## 使用方法

### ▼ プレックス剤として使用する場合

- ブリーチ : 薬剤の総量に対して 5 %
- カラー : 薬剤の総量に対して 5 %
- ストレート : 薬剤の総量に対して 5 %
- パーマ : 薬剤の総量に対して 5 %

### ▼ 後処理として使用する場合

- ① オンカラー後シャンプーをしてタオルドライ
- ② Dr.EMULSION を毛髪全体に満遍なく塗布
- ③ 粗めのコームでコーミングをして 5分放置
- ④ トリートメントをして流し
- ⑤ ドライをした後 140~160℃でアイロン処理

使用量の目安  
ショート : 15g  
ミディアム : 30g  
ロング : 45g

# Dr.Care Shampoo

# Dr.Care Treatment

ダメージリペアシャンプー/トリートメント

不要なものは取り除き、必要なものは補う

薬剤施術後のあらゆる毛髪の悩み（課題）と要因へ訴求するヘアケアシリーズ



有効成分

活性ケラチン・ジマレイン酸・ファイバーハンス

エルカラクトン・ヘマチン

効果効能

補強 / 架橋・補修・保湿・残留除去

有効成分  
ジマレイン酸・ファイバーハンス

効果効能  
補強 / 架橋・保湿



## 開発の経緯

従来のサロン専売品のヘアケアは、本当に髪に必要な有効成分の濃度が薄く、使い続けても効果を実感できるものがなかった。

この課題を解決するため「使い続けることで本当に髪の毛が綺麗になるヘアケア」をコンセプトに開発。

潤沢なケア成分で残留成分の「除去」、ダメージホールの「補修」、  
損傷した毛髪の芯と結合を「補強」する、まるで処理剤のようなシャンプートリートメント



### 残留除去（ヘマチン）

- ・ 残留アルカリ、残留過酸化水素の中和
- ・ 褪色防止効果 / 色持ち UP
- ・ ケラチンと結合する毛髪補修効果
- ・ 抗酸化作用

### 補修・保湿（エルカラクトン）

- ・ 熱と反応するオイル成分が、ダメージ部分に作用し手触りやツヤ感 UP
- ・ ドライヤーなどの熱によってオイル成分が定着

## おうちで簡単！髪質改善効果がUPする使い方

STEP1 … お湯でしっかりと髪の毛を濡らす

STEP2 … Dr.Care Shampooをしっかりと泡立て  
髪の毛に泡を揉み込むように洗う

STEP3 … しっかりと洗い流す  
(泡パックとして2~3分置いて洗い流すと浸透効果UP)

STEP4 … Dr.Care Treatmentを  
髪の毛全体になじませる

STEP5 … 地肌から毛先へと洗い流す



# Mirror Oil

高潤度マルチヘアオイル



”重くならず艶やかな鏡面仕上げ”  
ヘアカラー後に最適のヘアオイル

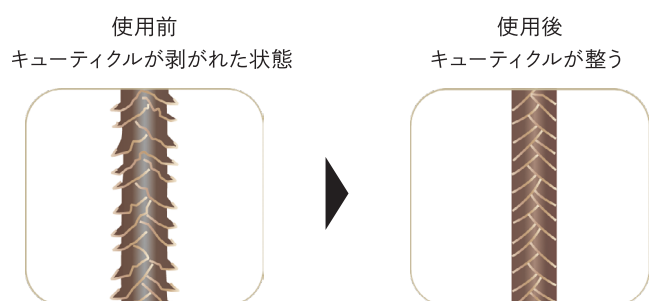
## 開発の経緯

従来のオイルは保湿効果に特化したものが多く、キューティクルを保護・ケアするものがなかった。この課題を解決するためキューティクルの保護・ケアに特化したエルカラクトンを最大限に高配合した「本当に髪にいいヘアオイル」をコンセプトに開発。

独自処方で髪の毛がベタつかないのに高保湿&シルクのような上質なツヤ感  
2種類の有効成分が熱ダメージを予防&補修

## エルカラクトン&メドウフォームラクトン

ドライヤー、ヘアアイロンなどの熱により毛髪と反応、結合して補修。  
うねり、絡まり、ハリコシの減少といったエイジングによるトラブルを改善。  
髪の毛内部に浸透しアミノ基と結合。



ドライヤーなどの熱によって  
オイル成分が定着



## 使用方法

ドライ前

・・・ ① 洗い流さないトリートメントとして

スタイリング前

・・・ ② コテ巻き、アイロンの下地オイルとして

仕上げ

・・・ ③ 仕上げのスタイリング剤として

①～③それぞれのタイミングで、3～5プッシュ手に取り、髪の毛全体に馴染ませます。

# Dr.ZERO

テクスチャーコントローラー



カラーやブリーチ時の操作性やリフト力を左右する  
重要な要素である「粘度」コントロール用 増粘乳化剤

## 開発の経緯

ブリーチ剤やカラー剤を最適な髪色を出すために調合すると、2剤との比率によって粘性がゆるく操作性が悪いため、施術に時間のかかる場面が多かった。

この課題を解決するため「最高のカラー・ブリーチ技術を最短で提供する」というコンセプトで開発。

## 理想の粘度に調整できる

薬剤に馴染みやすい独自のジェル処方で均一に粘度調整できる

## ダメにならない特殊処方

オキシを2~3倍にしたブリーチ剤も塗りやすい質感に調整可能

## 施術の効率UP

0テクや顔まわりの薬剤塗布など、繊細さが求められる施術も簡単に！

## 使用方法

カラーやブリーチの1剤+2剤の総量の1~5%MIXして粘性の調整をします。

※ 総量の1%から希望の粘性になるまで少しずつ混ぜながら調整します。



# Dr.PROTECT スカルププロテクトジェル



髪は染まって、地肌は染まらない  
最適な粘性を追求したカラー用 頭皮保護クリーム

## 開発の経緯

年々アレルギー体質の人が増えていく中で、ヘアカラーの際に従来のスプレー型頭皮保護剤を使っても頭皮に痛みを感じるお客様が増加傾向にある。  
この課題を解決するため「使って効果を実感できる頭皮保護剤」をコンセプトに開発。

## 頭皮保護効果の高いジェル処方

従来製品で滲みる人も効果を実感できる独自のジェル処方

## 顔に垂れにくい粘性設計

従来の頭皮保護剤の課題をクリア、お客様に安心して使える

## カラーの邪魔をしない

カラーの染まりに影響が出ないので白髪染めのお客様にも最適

## 使用方法

アプリケーションなどに詰め替え、カラー施術前の頭皮に直接塗布します。  
生え際・えり足・耳まわり・こめかみ・もみあげ等は特に十分に塗布します。